

育てよう!
亀丘の
たからもの

GARYUKYO REVIVAL PROJECT

今、日本で話題の活動に参加してみませんか?

鸕流峡復活
プロジェクト



サポーター募集中!

一緒にスカッ!と
しまいか!!

伐採して!

遊んで!

癒されて!

料理して!

ほぼ永久的に生えてくる竹林。実は地域のお宝だったと発見。子供たちに伝え残したい懐かしくも新しい地域のお宝と一緒に育ててみませんか。ぜひ、一度プロジェクトを覗きにきてください!

女性でも子どもでも出来ちゃう竹林伐採や筏くんだり、竹炭づくりなどのアクティビティー。ベテランさんと一緒に楽しめます!



Activity

Healing

竹三本で灯油 18ℓ分のカロリーを生み出せる竹燃料で、ホカホカになったり。竹灯籠を作ったり。スローな時間を過ごしたり...



Cooking

筍が少し伸びるとメンマになるって知ってました? 国内で食べている99%が外国産だとか。だったら竜丘から産みだしましょう日本のメンマ。made in TATSUOKA★



✂️...キリトリ



お問合せ 竜丘自治振興センター TEL 0265-26-9303

FAX 0265-26-9385 → 下記ご記入の上、FAX送信または直接、竜丘自治振興センターへ

E-MAIL tatuoka@city.iida.nagano.jp → 下記同様の項目を入力ください左記アドレスへ

フリガナ 氏名	() 歳 性別 (男・女)	TEL
住所		E-Mail

信州伊那谷産

天竜いなちく

made
in
japan

あっ!
日本の
メンマだ

しかも、無添加だに!



放置竹林を地域のお宝へ

『環境と観光と地域作り』

竹で遊ぼう・竹で暮らそう

天竜舟下り 船頭

天竜川驚流峡復活プロジェクト 代表

曾根原 宗夫



昭和36年まであった温泉宿 『湯ノ瀬の湯』



なっ!!! なんじゃこりやあああ!!!



スタートは……

船頭有志数人

・大量に伐りだした竹……………



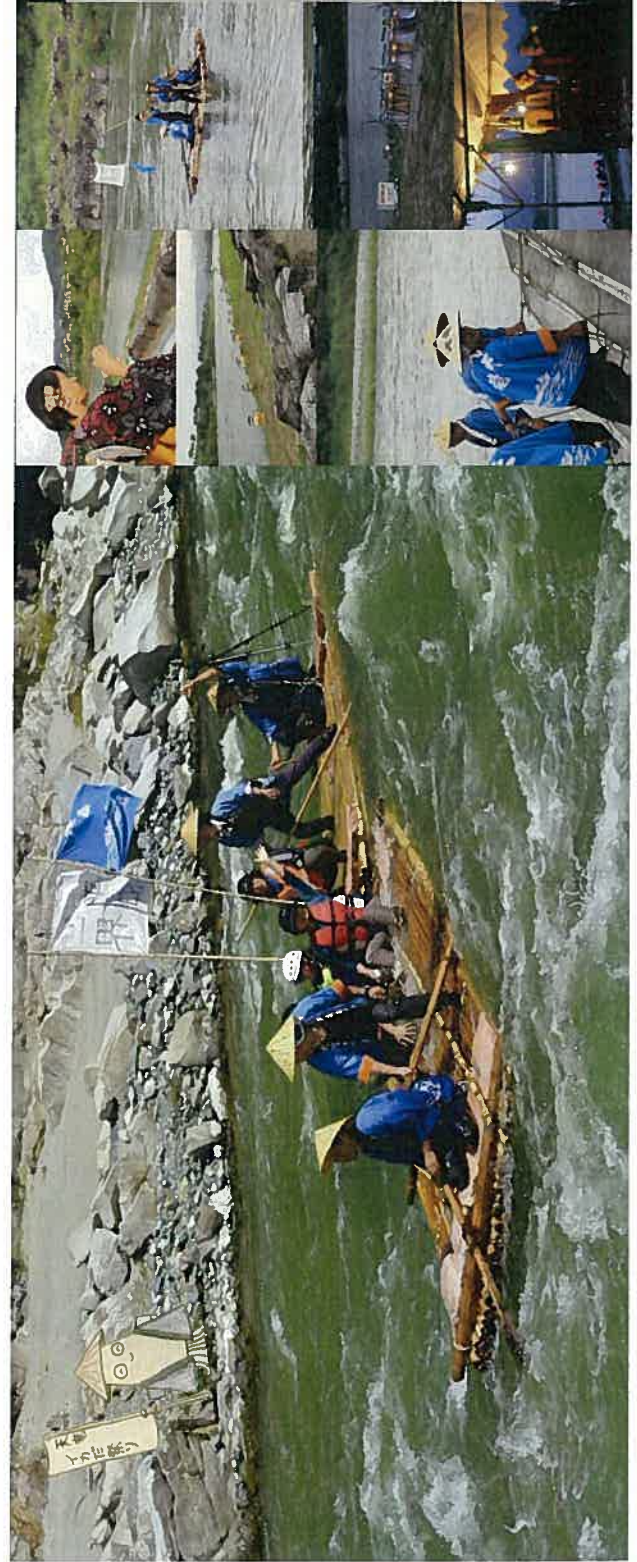
・たどりの竹……………ついでに……

竹を伐る。と書いて……

いかだ!!!

船頭のルーツ……

筏!!!!!!



陸奥なムードの中、あたたかな歓迎を受ける



地元新聞紙 4誌に掲載



信 濃 報 日 新 紙

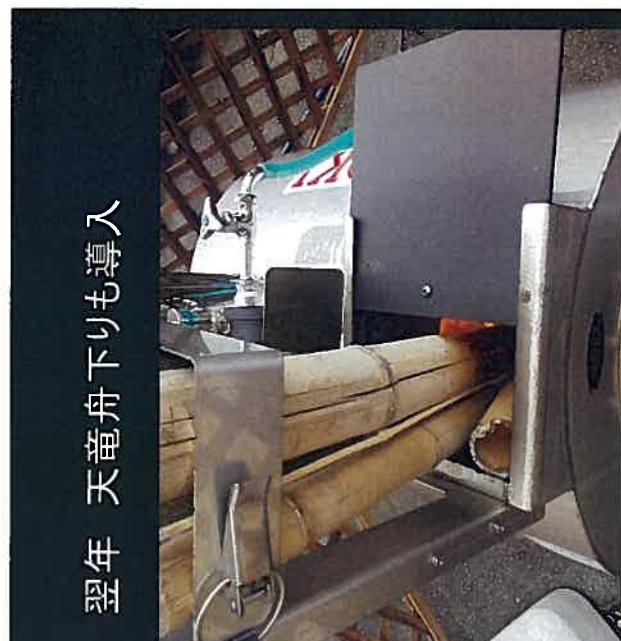
2013年 02月 25日 11:40

【注目】天童川下り会社と住民の合意書

いかだの竹燃料に

竹々整備促進に期待

「天童川下り会社と住民の合意書」が、天童川下り会社と住民の間で調印された。合意書には、天童川下り会社が、川下りのために伐採した竹を、住民に提供し、住民が竹を燃料として利用する仕組みが盛り込まれている。住民は、竹を燃料として利用することで、薪の調達コストを削減できる。また、竹を燃料として利用することで、天童川下り会社の収益も向上する。住民は、竹を燃料として利用することで、天童川下り会社の収益も向上する。住民は、竹を燃料として利用することで、天童川下り会社の収益も向上する。



翌年 天童舟下りも導入



竹燃料を可能とする薪ストーブ!!!

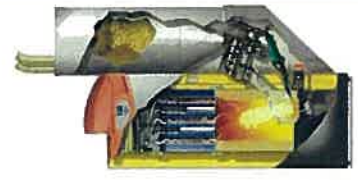
【竹チップポイラー】

福岡大学工学部 データ参照

乾燥した竹の重量当りの燃焼エネルギーは、大体灯油のその1/2である。今回の開発では、水分の多い竹チップを乾燥させながら燃焼させるため、乾燥にエネルギーを消費する。このエネルギーは潜熱回収するのであるが、燃焼装置全体として、灯油の1/4程度の熱を得られるようにする。

ひとくちメモ

竹の熱量は約4600kcal/kg
 (参照: http://keiyahi2.ecocolor-nifty.com/blog/2006/05/post_0602.html)
 なお、木質ペレットと灯油、石炭の熱量は1kgあたり
 木質ペレット: 4,037kcal
 灯油: 8,767kcal
 A重油: 9,341kcal
<http://www.nref.iwate.jp/~hp0552/biomass/outline/outline.htm> より
 石炭(揮発炭): 6,400kcal
 石炭(褐炭): 4,500kcal
http://www.kobelco.co.jp/GCSFiles/afefile/2008/07/05/ubc_ppt.pdf より
 上記より、木質ペレットより発熱量14%増、褐炭とほぼ同じ、A重油のほぼ50%と考えられる。



灯油 18ℓ

灯油18ℓ = 竹3本!

燃焼力ロリーが高く、毎年二億キロ出してくる竹……
 言い換えれば……
 枯渇することのない、『奥田……』

- ・ 天竜川鬱流峡復活プロジェクト設立
- ・ 地域の子振り体験
- ・ 地域の手振り体験
- ・ 竹切り体験
- ・ 竹場で夜宿体験
- ・ 竹燃料でストーブ
- ・ 竹の薪で足湯
- ・ 地域の子振り体験
- ・ 地域の手振り体験
- ・ 竹切り体験
- ・ 竹場で夜宿体験
- ・ 竹燃料でストーブ
- ・ 竹の薪で足湯
- ・ 地域の皆さんと一緒に活動出来ないか???????
- ・ 地域の市役所
- ・ 竜丘自治振興センターへ……
- ・ 船頭は川側から伐採活動
- ・ しかし、少人数では太刀打ちできない
- ・ マンパワーが必要!

竹林伐採バスターズ CHIKURIN BASSAI・BUSTERS

スタッフ募集!

募集締切 2015 11/15

お問い合わせ先 天竜川鬱流峡復活プロジェクト
 〒404-0001 静岡県浜松市東区竜丘1-1-1
 TEL.0265-26-9303 FAX.0265-26-9385
 E-MAIL: tsutobu@city.yatai.nagano.jp

お申し込み方法は裏面をご覧ください。

天竜川鬱流峡復活プロジェクト活動組織
 〒404-0001 静岡県浜松市東区竜丘1-1-1
 TEL.0265-26-9303 FAX.0265-26-9385
 E-MAIL: tsutobu@city.yatai.nagano.jp

活動内容
 平成27年11月～12月の活動期間
 11月15日(金)までお申し込みください
 活動場所は静岡県浜松市東区竜丘1-1-1(201)

募集要項
 1. 年齢性別性別不問
 2. 活動期間が1週間以上
 3. 竹の伐採・搬出・薪割等の作業が可能
 4. 竹の伐採・搬出・薪割等の作業が可能

活動内容
 天竜川鬱流峡復活プロジェクト活動組織
 〒404-0001 静岡県浜松市東区竜丘1-1-1
 TEL.0265-26-9303 FAX.0265-26-9385
 E-MAIL: tsutobu@city.yatai.nagano.jp

天竜川鬱流峡復活プロジェクトの取り組み

【地域】 竜丘地域自治会
 【事業者】 天竜舟下り船

共通の課題
 「不法投棄」「放置竹林」

課題の解決
 「事業者と地域が連携」

共同
 竹林伐採作業
 ガードレール清掃作業

地域や企業単独では限界

【地域における効果】
 ●不法投棄ゼロの実現
 ●鳥獣及び道路環境の維持
 ●新たな担い手の創出・育成
 ●次世代のための環境教育

【事業者における効果】
 ●鳥獣維持による観光客増加
 ●観光資源・サービスの創出による新たなファン層の拡大
 ●事業者の魅力アップ

【切った竹や整備したフェールどを活用】

竹の薪で足湯
 竹燃料でストーブ
 竹の薪で足湯

まず、ガードレール磨き



中川 新子 2015年(平成27年)11月25日(木曜日)

「鷲流峡」景観再生へ一丸

天龍市電丘地域の天龍川沿いの峡谷「鷲流峡」の風景を再生しようとして、地元住民とレジャー企業「天龍峡下り」が、県西を回る竹林の対抗プロジェクトを始動させる。地域公団の組織「竹林の対抗プロジェクト」が定期的に刈り取るほか、竹の新しい活用にも検討、地域を巻き込んで、環境を磨いていく。(高橋和)



住民と企業が連携

天龍市電丘地域の天龍川沿いの峡谷「鷲流峡」の風景を再生しようとして、地元住民とレジャー企業「天龍峡下り」が、県西を回る竹林の対抗プロジェクトを始動させる。地域公団の組織「竹林の対抗プロジェクト」が定期的に刈り取るほか、竹の新しい活用にも検討、地域を巻き込んで、環境を磨いていく。(高橋和)



天龍川 竹林を伐採、炭や肥料に

天龍川沿いの峡谷「鷲流峡」の風景を再生しようとして、地元住民とレジャー企業「天龍峡下り」が、県西を回る竹林の対抗プロジェクトを始動させる。地域公団の組織「竹林の対抗プロジェクト」が定期的に刈り取るほか、竹の新しい活用にも検討、地域を巻き込んで、環境を磨いていく。(高橋和)

ふもふも「スターズ」始動



伐採中は…… お七に 竹の櫃の中のふもふ……

嫌になっちゃ う。ばつがじゃー！

(3)

2016年(平成28年)7月5日 火曜日

漂流体験復活プロジェクト

竹いかだで 天竜川下り

作業の苦勞を忘れる楽しさ

天竜川沿いの竹林を
伐採する「天龍川環境
プロジェクト」に編
入する藤田忠重氏の住民
自衛隊、伐採した竹
いかだを渡り、天龍
川下りを楽しんだ。

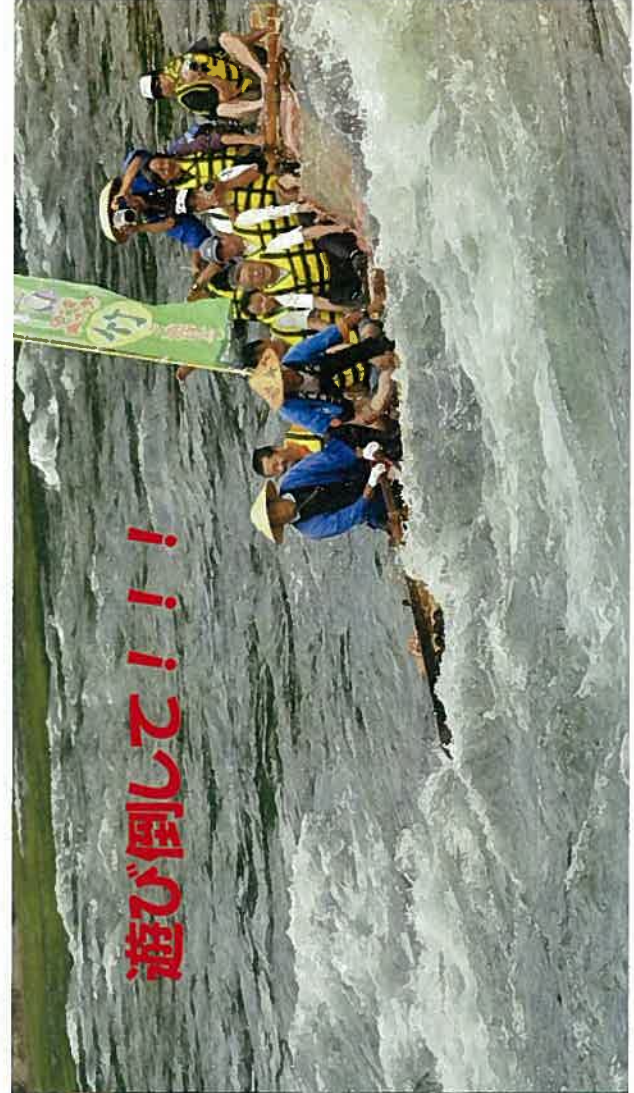
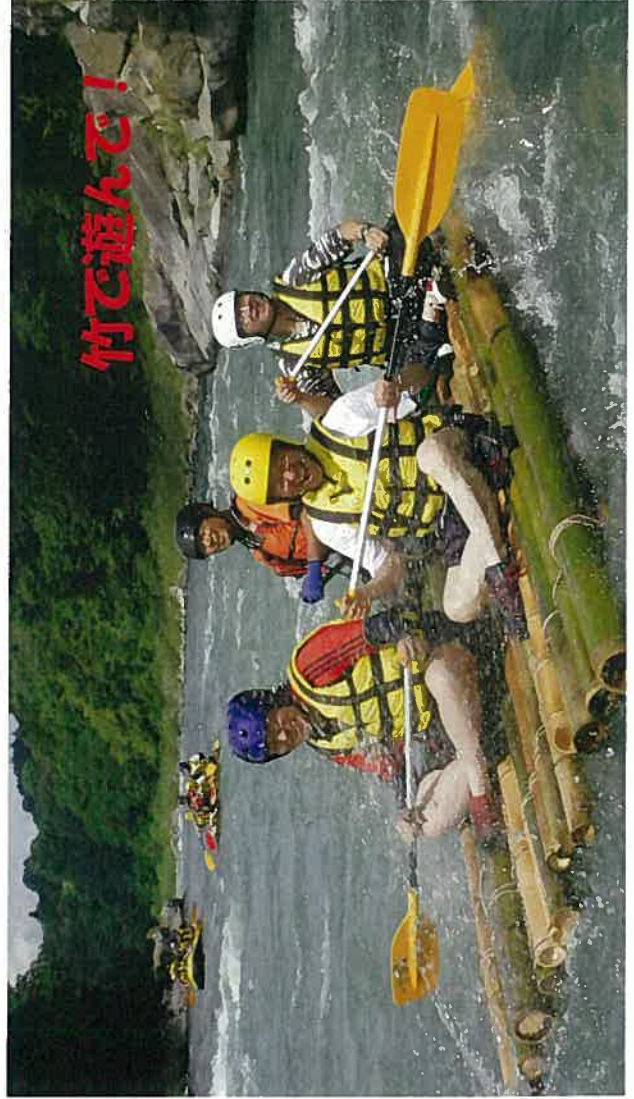
山下りを楽しんだ。
いかに竹には穴
プロジェクトのメンバーと
藤田氏の長男が参画。

「を始める印刷製本
さん(印)の印刷製本
を始めるとしていかに
を渡り、天龍川から出
発した。

オールを手にいかに
に渡り、天龍川下り
プロジェクトのメンバー
を渡り、天龍川下り
下り、竹いかだを渡り、
天龍川下りを楽しむの
と天龍川下りを楽しむ
ていかに。

岐阜・広報の印刷製本
風越印刷(株)
山形 1-22-7735

天竜川を竹いかだで下るメンバー



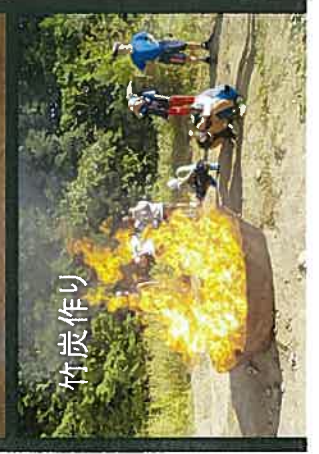
竹で あたたまるぅ〜!!



教育現場にも飛び火!!



地丘小学校6年生総合学習



竹炭作り

童丘小児童 地元竹で炭作り 天竜川驚流峡の美化と景観保全



竹炭を焼いた火が消えたか確認する子どもたち
つ鼻な炭になり、はちら立
ちあめて来たころに水をかけ
て種火。竹炭を取ると、驚
きの手たちは驚くばかりかな
と驚き恐る手を伸ばす。
平成25年(13)は「3が
県」なるから最初焼いたた
けれど、少し傾いたのだ。
小木曾君(13)は「産婆さん
なご一緒に作業がとろとろし
かっただと、回手いには、竹
炭を運んだ竹炭は焼きた
30日に行き廻すところ、土
ヨンのバーキエに帰る。
クラス担仕の和田義孝(13)
が「1月、ロシエを
知り、竹を使った炭を焼い
て来た。今回、竹炭を焼い
たおれに、子どもたちは今ま
竹の炭を焼くことに決めた。
和田義孝は「理取を聞か
ず、人の姿を見て、将来、地境を
守る人になつてほしい」と
期待していた。

そして...



までは、竹ギョーコギョ

飯田 竜丘小6年 住民と交流

2017年(平成29年)1月25日(木曜日) 18

南信

合わせ竹刈り

飯田・竜丘小6年 住民と交流

飯田市の山間部には、昔ながらの竹の文化が残っています。そこで、飯田市の山間部を訪れた竜丘小6年生と、地元住民が一緒に竹を刈る活動を行いました。この活動を通じて、地域の人々と交流し、竹の文化を学ぶことができました。

飯田市の山間部には、昔ながらの竹の文化が残っています。そこで、飯田市の山間部を訪れた竜丘小6年生と、地元住民が一緒に竹を刈る活動を行いました。この活動を通じて、地域の人々と交流し、竹の文化を学ぶことができました。

飯田市の山間部には、昔ながらの竹の文化が残っています。そこで、飯田市の山間部を訪れた竜丘小6年生と、地元住民が一緒に竹を刈る活動を行いました。この活動を通じて、地域の人々と交流し、竹の文化を学ぶことができました。



地元高校との連携もスタート



課題だった放置竹林の活動のきっかけに 港や舟を活用した青空教室開催！！

『地域人教育』

環境体験ツアーリズム

世代・地域をこえて



NPO法人

greenbird との連携

← ← どうせやるなら

楽しまなまや

長い間眠っていた
数々のゴミや倒木が！



伐採が進み
明るくなってきた竹林には

.....

倒木もそのままにしたらゴミやんか。もったいない！

NPO法人 greenbird ×
天竜川 鷲流峡復活プロジェクト
新創り体験からエネルギー活用



美味しく食べて竹林整備



これも一つの竹林整備



おもしろく、美味しく、楽しく竹林整備ー

楽しんでますー……



飯田 天竜川・鸛流峡の岸辺整備



伐採する竹でメンマ作る

放置竹林を食べて整備



「放置竹林を食べて整備」は、飯田地区の竹林を有効活用し、地域活性化を図る取り組み。竹林の整備と、その産物であるメンマの加工・販売を一体的に行うことで、地域経済の活性化と環境の保全を同時に実現する。

この取り組みは、地域の若手世代が主体的に取り組むことで、持続可能な地域づくりを目指す。メンマの加工は、伝統的な製法を守りながら、新たな価値を創造している。

単丘地区 特産品化巨担し計画

単丘地区の竹を特産品化する計画。地域の資源を最大限に活用し、高付産品を生産する。これにより、地域の産業構造を転換し、持続可能な発展を目指す。

製造法 きょう学習会

メンマの製造法を学ぶ学習会が開催された。地域住民が一堂に集まり、メンマの加工工程を体験した。講師は、メンマの加工に精通する職人による指導だった。

学習会では、竹の選別から煮込み、乾燥までの工程を詳しく説明された。参加者は、実際に手を動かしながら、メンマの独特の風味と食感を味わった。

～ママの純国産化プロジェクト～

ママの作り方を学ぼう

6月7日(火) 18:00～19:30

単丘公民館 1階 集まるまの学習室 (401号室)

講師：高付産品加工技術指導員 山崎 浩二氏

TEL: 0265-26-9303 FAX: 0265-26-9385

地元のメンマ 出来ました！

地元企業 あちの里(有)

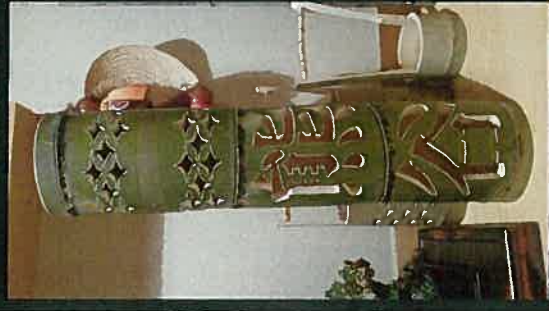
純国産化メンマ

地域の新たな食への展開

完成！！！！

みんなで創る地域のお宝

竹林整備の活動から 竹宵の会 誕生!!!



呑み屋さんの赤ちようちなんならぬ竹行燈



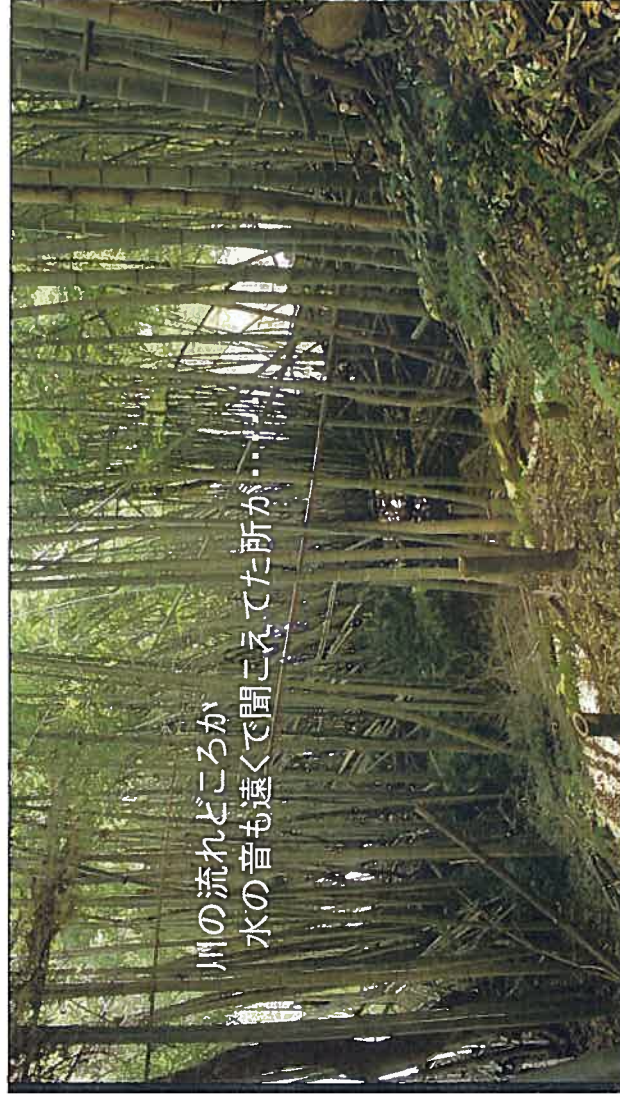
長野県
そばの会



トント広がる竹の可能性！

暮らしに味付けを！

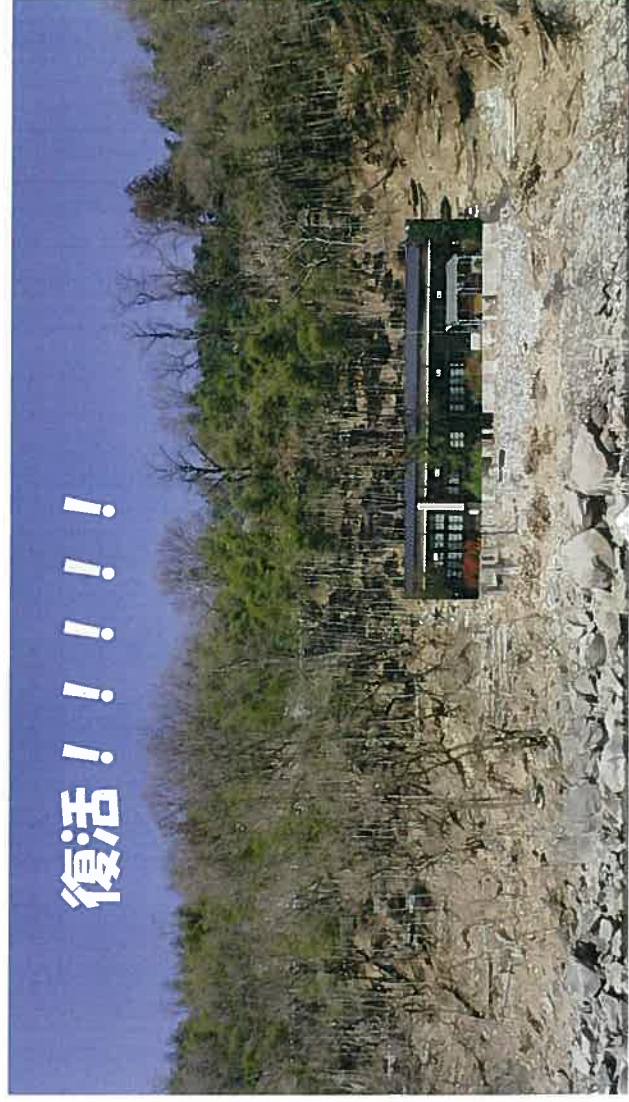






昭和36年まであった温泉宿
『湯ノ瀬の湯』

半世紀ぶりに甦ったお宝がここに！！！！



復活！！！！！！



地域との繋がりを

遊び

燃料

竹

食

学び

新しい中間、組織の誕生

GO2を 成長を

新想事業の構築

H28年度 南信州元気な森林づくり大賞受賞



平成28年度 南信州元気な森林づくり大賞

南信州地区 飯伊地区 いたけ品評会

①大賞受賞 ありあけふるさと 飯伊地区 森林づくりプロジェクト
 ②次賞受賞 ありあけふるさと 飯伊地区 森林づくりプロジェクト
 ③次賞受賞 ありあけふるさと 飯伊地区 森林づくりプロジェクト

「南信州元気な森林づくり大賞」は、南信州地区の森林づくり活動に対する功績を表彰するものです。今年度は、飯伊地区の「ありあけふるさと 飯伊地区 森林づくりプロジェクト」が、大賞を受賞しました。

この大賞は、南信州地区の森林づくり活動に対する功績を表彰するものです。今年度は、飯伊地区の「ありあけふるさと 飯伊地区 森林づくりプロジェクト」が、大賞を受賞しました。



育てよう！ 竜丘の たからもの

天竜川 鷺流 峡谷 復活プロジェクト

今、日本で話題の活動に参加してみませんか？

「育てよう！ 竜丘の たからもの」は、天竜川 鷺流 峡谷 復活プロジェクトの一環として行われる活動です。この活動は、地域の自然を再生し、地域活性化を図ることを目的としています。

町民-Xバー-募集!

伐採して！
遊んで！
癒されて！
料理して！

ほぼ永久的に生えてくる竹林。実は地域の貴重な財産です。住民、子供たちに伝えたい。宝を一緒に育ててみませんか。ぜひ、一帯プロジェクトを覗きにきてください！



Activity

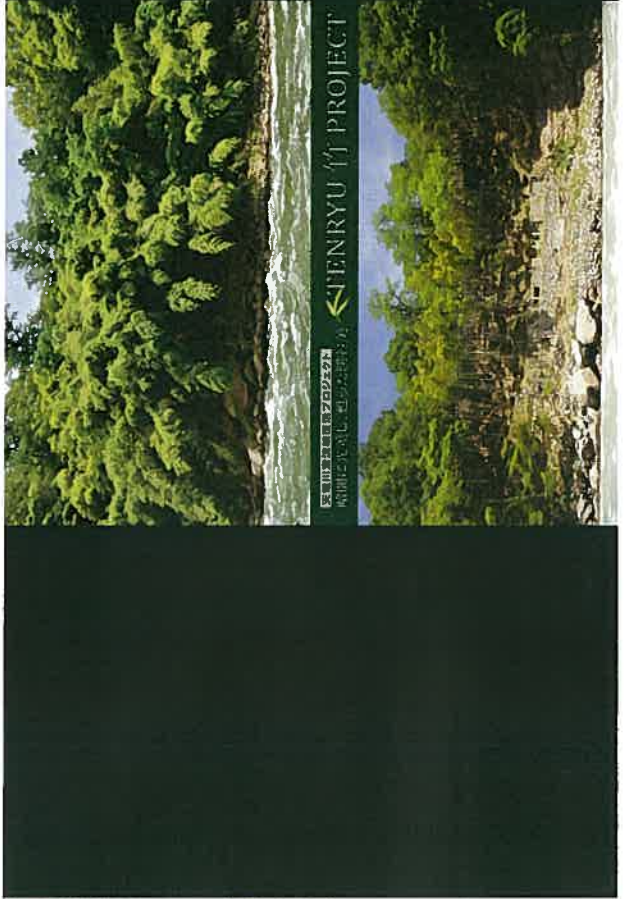
女性が子どもでも出来るよう竹材の活用を
 探したり、竹材の活用方法を
 学び、活用方法を
 学び、活用方法を



Cooking

竹三本で竹筒 180分のカオリー
 を蒸かして竹筒料理で、おカサ
 にかいたり、竹筒料理を作っ
 てスローの時間を過ごしたり...

お問合せ 電話 0265-26-9385 FAX 0265-26-9303
 E-Mail tatsuko@city-itida.nagano.jp



天竜川 鷺流 峡谷 復活プロジェクト

天竜川 鷺流 峡谷 復活プロジェクト
 天竜川 鷺流 峡谷 復活プロジェクト

